

小山田大龍地区まちづくりを考える会（幹事会）  
まちビジョン準備会（第3回）

2023.3.15（水）18：00～19：30  
場所；大龍会館

参加者

- ・ 市民 10 名
- ・ 街づくりアドバイザー 1 名
- ・ 町田市地区街づくり課 2 名

1. アドバイザーから前回の議論内容を報告書の資料の確認。
2. 市地区街づくり課から説明と報告
  - ・ 「まちビジョン」の説明（目標設定から街づくりプロジェクト、そして活動支援へ）
  - ・ 地区街づくりプランの事例報告（8 地区）以下は参加者の意見
    - 全て市街化区域内の事例であり大龍地区の状況とは違うのでは。
    - 市にはこの地域に添った（市街化調整区域としての）ビジョンを持ってまちづくりに臨んでほしい。
    - 大龍地区がこのエリアで何をしたいのかをアピールすべき（目的）
    - 里山の保全計画は市の丘陵地域のまちづくりとあっているのでは。
  - ・ 前回からの作業報告（地形図によるまちづくりエリアの確認、フットパスの明示）フットパスは最近整備されたものを足しこんで記入した。
3. 地形図を見ての地域の資源、活動などの可能性について意見交換
  - どんど焼きで経験したように、この地域の祭りを盛り上げることで地域の活性化につながる
  - 病院がオープンする、これも地域の活性化につながる。
  - 奈良ばい谷戸は一部を除いて小野路地域に入っている。東京都の計画にも位置付けられており、隣接地と連携しながら街づくりを進める事も考えられる。
  - フットパスはこの他にもあるのでさらに調査して完成したらどうか。
  - 将来的にはフットパスを東谷戸に整備したらどうか。
  - ハイカーには休憩所（お茶、トイレ、買い物）の整備が必要。ただこの地域には販売する農産物が少ない。

- 休憩所では水が必要になるが、電気はあるが水がない。  
大瀧会館には両方あるし、トイレもある常時は厳しいが月に一度くらい休憩所として活用ができるのでは。9月の地域の祭りで大龍会館を利用してみてはどうか。
- 病院の入り口の三角地で筍の販売をするのはどうか。

#### 4. 調整区域の土地活用について

- 囲いを作ってウサギの放し飼いも面白い。
- フットパスでマウンテンバイクを乗る人がいる。積極的走れる施設を作れば歩行者も安全であり喜ばれるのではないか。
- バーベキューができる場所の整備も考えられる。
- 調整区域で建物を建築しないで土地活用する方法を考える。課題はトイレの設置になる。

#### 5. 次回幹事会に向けて

会の名称については、地区まちづくりプラン（旧条例）の名称を引き継ぎ「小山田大龍地区まちづくりを考える会」とし、全体会までは「まちビジョン準備会」として開催したらどうか（地区街づくり課の提案）→了解

今回、市が作成した地形図は議論をする上で大変意味があった。イメージの共有や新たな気づきも有る。

次回からこの地図に市や小田急の所有している土地、市街化区域の境界、生産緑地の位置、小山田緑地の境界その他議論のもとになる情報を入れて精度を増していく。

次回の幹事会は4月19日（水）午後6時30分から大龍会館

検討事項

- ① 作成された地図により
  - ・地域で出来ることの確認
  - ・新たな資源の確認
  - ・可能性のあるまちづくり活動について
- ② まちビジョンの目標・方針のイメージ